

知っちよる？

しものせき

梅光学院大学編

このページは、ジュニアのページ(J's ページ)として市内5大学と連携して作成しています。小・中学生、高校生に向けて、毎月、大学のユニークな取り組みや役立つ情報を分かりやすく紹介するコーナーです。記事は、月ごとに各大学が持ち回りで担当しています。

今月の担当は梅光学院大学です。

外国語による人と人の多様な交流

みな、知っちよる？
梅光学院大学では、留学をはじめとして、学外にも外国語を学ぶことができるさまざまな機会を用意しています。

「深坂自然の森」でイングリッシュキャンプ

ネイティブ教員たちと寝食を共にする宿泊型の学習「イングリッシュキャンプ」。一番の特長は、キャンプ中に使用できる言語は英語のみということ。今年3月に「深坂自然の森」キャンプ場で実施しました。学生たちは2泊3日のキャンプを通して、教室ではなかなか学べることができない日常生活での英語表現を身に付けるなど、英語運用能力をアップさせることができました。英語しか使えない環境で数日間わたって生活したことで、さらなる学習意欲の向上にもつながったようです。こうし

た環境で授業ができるのも、街中から一歩足を伸ばすと豊かな自然があふれる下関の大学の魅力の一つです。

下関の新たなランドマーク誕生！

梅光学院大学は、2019年3月を目指して下関の新たなランドマークとなる新校舎を建築します。新校舎は「学生の居場所をつくること」「学生の自主的な学びを誘発すること」をコンセプトに設計された、これまでにない新しい学習空間です。例えば、「廊下」「教室など境目のないオープンなワンフロアの空間をつくります。ジグザグ廊下で外と中を自在に出入りできるようにになり、いろいろな人と人の交流が活発になります。また、部屋の間仕切りが変えられるようになり、さまざまに変化する授業に対応。教室をガラス張りすることで「魅せる授業を実現し、刺

激し合い、授業の質の向上を目指します。新校舎の隣には緑豊かなセントラルパークを拡張することも予定。活動の拠点や憩いの空間として市民の方にも開放することも考えています。都市だけでなく、地方にもグローバル化が進む現代社会では、知識・技能だけでなく、「解決力」や「創造力」が求められています。

新校舎は、こうした力を育てる授業はもちろんのこと、大学生生活のあらゆる場面でこれまで以上に、学生同士、そして教職員との交流が生まれ、快適に学び、学生生活を有意義に、自信を持って過ごしてもらえよう、さまざまな工夫を凝らしています。

※新校舎についての記載の内容は、2018年5月時点の予定であり、実際の用途、デザインとは異なる場合があります。



「イングリッシュキャンプ」



「新校舎」イメージ図



「梅光学院大学新校舎コンセプトムービー」



QRコード